

サービス・ニュース Service & News

3月23日(土)より
「インターネット利用席」の申込方法が変わりました

■ 場所: 2F オレンジゾーン ■ 申込み: 2F 総合図書カウンター

① 6席のインターネット利用席をご用意しています

② ご利用には貸出券(利用カード)のご提示をこれまでインターネット申込用紙にご記入いただいていましたが今後は不要です。2F 総合図書カウンターにて、貸出券(利用カード)をご提示ください。

③ ご利用は1日1回1時間まで
次に予約の人がいない場合に限り、30分の延長が可能です。

4月16日(火)より
電源の取れる席はノートパソコン専用席になります
ご利用はカウンターへお申込みください

■ 場所: 2F パープルゾーン ■ 申込み: 2F 総合図書カウンター

① 「ノートパソコン専用席」に変わります
電源の取れる「有線LAN優先席」は「ノートパソコン専用席」となります。ご自身のノートパソコンを利用される方のみご使用いただけます。

② ご利用には貸出券(利用カード)をご提示ください。
2階総合図書カウンターにて、お申し込みください。

③ ご利用は1日1回2時間まで
次に予約の人がいない場合に限り、1時間の延長が可能です。

④ 有線LANケーブルはお貸出しています。カウンターに申込みください。

日比谷カレッジ
「書物美の世界」
シリーズ関連展示
北欧の可愛い
刺繍小物と
日本の美しい装丁本

2階図書フロアにて、スウェーデンのテキスタイルデザイナー、ミラ氏の刺繍作品を展示します。また、書物美の世界を堪能していたため、竹下夢二、片沢桂介、横尾忠則などの美しい本を展示。大正から平成にかけての装丁の遷遷を辿ります。セミナー詳細は中面を。

場所:
2Fホール&
パープルゾーン

「わたしの一冊」
赤毛のアン
L.M. モンゴメリ著 村岡花子訳
おすすめ
する人
コンシエールジュ並木百合

社会人となり、さまざまな壁にぶつかり余裕がなかった頃、上司から「あらためて読んでみたら」と勧められた1冊です。プリンスエドワード島の宝石のような美しい情景とともに、生き生きと毎日を生きているアンは人との出会いや日々の流れの中に幸福を見つけ、ひたむきに、明るく前に進む力を教えてくれました。大人になってからも大切な気持ちを教えてくれる、私にとって大事な1冊です。

「とっておきの話」
ちくま文学の森15 安野光雅編
おすすめ
する人
図書フロア 野川和音

当館スタッフの推薦本をご紹介します。

収録されている『ある女の日記小泉八雲著』は、実在した女性の日記が小泉八雲に渡り、目の目を見たという、当時の庶民の文章が読める珍しい短編となっています。筆者の女性が描く平凡な日常は、現代に暮らす私たちにはとても素朴に映りますが、その暮らしの中で多くの事を見て、感じることがみずみずしい文章から伝わってきます。この東京の地で、別時代に暮らしていた人がいたことを、これほどリアルに感じられる作品はないでしょう。

ZONE pick up! orange zone

〈法律・政治・ビジネス・統計・参考図書〉などの本を集めたオレンジゾーン
ビジネス情報コーナーに
本棚が新設されました

閲覧席側の棚にはビジネス情報に関する展示。反対側の棚には日経ビジネス人文庫、日経文庫、PHPビジネス新書を集めています。そばにはイスもご用意していますので自由にご利用ください。



ビジネス情報コーナー中央展示『100周年企業』

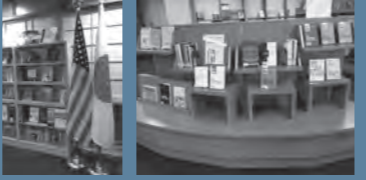
100年以上の歴史を持つ企業調査のスペシャリスト・帝国データバンク社と、今年創業100周年を迎える企業、組織などについての特集を行います。関連講座「創立100周年 ダイヤモンド社のビジネス情報100年とこれからの100年」の詳細は中面をご覧ください。

メイン展示『UP DATE』

毎日刻々と変わる日本と世界。政治、経済、法律、社会について、関心の高い新鮮なテーマを取り上げ、随時アップデートしていく展示コーナー。4月は、当館で使えるオンライン・データベースの魅力を集めます。

都内初『アメリカンシェルフ』正式オープン

昨年11月、プレオープンしていた「アメリカンシェルフ」が4月26日(金)によいよ正式オープンいたします。米国大使館から寄贈された、ビジネス・データやビジネス書、アメリカの著名人の伝記などを豊富に展示。ビジネスに、日常の話題に、ぜひご利用ください。



昨年11月16日、タラ・D・ソネンシャイン国務次官が来日し、調印式が行われました。一部は貸出可能です。

ビジネス関連のおすすめ本

『財界人物我観』福澤桃介著 ダイヤモンド社 1930年
雑誌『ダイヤモンド』に連載されていた内容を書籍化した、当館で所蔵するダイヤモンド社の本の中で最も古いものです。岩崎弥太郎、三井八郎右衛門、安田善次郎、豊田佐吉、益田孝など著名な財界人について、福澤桃介氏による評伝が記されています。

『Small Business Sourcebook』Gale出版 2012年
米国大使館より寄贈された一冊。北米の小規模ビジネスに関する情報源を収録し、財務マネジメントやチームビルディングなど、ビジネストピックの記事要約も掲載。情報収集だけでなく、ビジネスセンスも磨ける本です。

現在行っている展示 3/25~4/25頃まで

2F パープルゾーン
〈イチオシ〉『江戸っ子と食』
江戸時代の豊かな食生活を紹介した展示がまもなく終了します。眺めるだけでも食欲がそそられる本の数々、ぜひご覧ください。
■ ガラスケース ▶ 『書物美の世界』 ■ 三角展示台 ▶ 『藤田嗣治 本のしごと』(4/1~) ■ セクション展示 ▶ 『火事と喧嘩は江戸の華』

3F ブルーゾーン
〈作品募集中〉『文学賞シリーズ「ちよだ文学賞」』
千代田区の文化的、歴史的な魅力をアピールするとともに、新たな才能を発掘するために文学作品を募集する「ちよだ文学賞」。今年も募集開始にあたり、関連本を展示します。作品募集は4/30まで。
■ 『ノーベル文学賞』(2/19~4/14)
■ 『日本の特撮・撮影技術』(4/16~)



3F グリーンゾーン
〈ナゾに挑戦〉『黄金比』~数が世界をつくった~
その「数」は数学でも美術でも、自然界にも建造物にも存在する神秘的「黄金比」。数に秘められた美とミステリーを探求してみませんか。形が織りなす数の美しさを堪能してください。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

1913年にパリに渡った藤田嗣治(1886~1968年)は、パリ画壇でのゆるぎない地位を確立すると同時に、挿絵本興隆の時代のなかで精力的に挿絵本の制作に取り組みました。その後1933年から日本に定住した藤田は1949年に日本を離れるまでの間、文学者、詩人、文化人たちと協働し、挿絵本の仕事を続けました。本展ではその1920年代から40年代まで、藤田にとって二つの祖国ともいえるフランスと日本において、とくに日本で藤田が手がけた「本のしごと」を中心に紹介します。また、1937年から44年までを過ごした麹町区六番町(現千代田区六番町)のアトリエでの暮らしにもスポットをあて、写真家土門拳が撮影した当時の貴重な記録も紹介する予定です。一冊の「本」という空間のなかに、油彩画に表現されているのと同じ、あるいはそれ以上に凝縮された藤田の才能と世界観を明らかにします。

特別展 藤田嗣治 本のしごと

日本での装幀を中心



「藤田嗣治 1928年頃 撮影: アンドレ・ケルテス Ullsteinbild / Uniphoto Press」

企画協力: 林洋子(京都造形芸術大学准教授)、株式会社キュレイターズ
会期: 2013年4月4日(木)~6月3日(月)
※休館日 4月15日(月)、5月20日(月)
観覧時間: 平日・10:00~20:00、土・10:00~19:00、日祝・10:00~17:00
(入室は30分前まで)
会場: 1階 特別展示室
観覧料: 一般300円 大・高校生200円
千代田区民・中学生以下、障害者手帳をお持ちの方および付添いの方1名は無料

▼特別展「藤田嗣治 本のしごと」関連イベント

トークイベント「挿絵本の黄金時代と藤田嗣治」
■ 日時: 5月18日(土) 14時~15時30分(開場13時30分)
■ 講師: 海野弘(美術史家) ■ 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
■ 定員: 60名(先着順、定員になり次第締切) ■ 参加費: 無料
申し込み方法: 電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)、来館のうえ1F受付にて

ギャラリートーク「藤田嗣治 本のしごと」
■ 日時: 5月19日(日) 14時~14時45分
■ 講師: 林洋子(京都造形芸術大学准教授) ■ 会場: 1階 特別展示室
■ 定員: 20名程度 ■ 参加費: 無料
※ギャラリートークは事前予約不要。希望の方は当日、利用券購入のうえ時間までに特別展示室内に集合

calendar 開館時間: 平日10時~22時、土曜10時~19時、日祝10時~17時、休館日

2013年 4月							2013年 5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
28	29	30					26	27	28	29	30	31	

■ お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: http://hibiyal.jp

